

## 今日、千葉工業大学に入学された皆さんへ

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。また、御家族の皆様には心からお祝いを申し上げます。才気あふれ前途洋々たる新入生をお迎えできたことは千葉工業大学にとりまして大きな慶びであります。

本来であれば4月1日の入学式において、直接お祝いを申し上げたいと思っていました。しかし、新型コロナウイルスが猛威を振るう状況に鑑み、未来のある新入生や御家族の皆様の健康と安全を第一に考え、誠に残念な決定でしたが、令和2年度の入学式を中止しました。また、皆さんにキャンパスで教員と直接顔を合わせて学んで頂くためにさまざまな方法を検討しましたが、現状では対面式の授業の実施は難しいと判断し、当面は、情報通信技術(ICT)や皆さん全員に配布している iPad 等を活用した授業(オンライン授業)のみを開講することといたしました。例年とは異なった形のスタートとなりましたが、皆さんの入学を大学は心から祝福し、新たなステージでの活躍を大いに期待します。

皆さんの中には学部生と大学院生がいらっしゃいますが、専門性を高め学問と研究を究めるために集まった大学院生の皆さんは、まさに英知の集団です。専門的な知識や語学力そして研究能力を更に高めることは勿論のこと、弛まず取り組む実行力やリーダーシップを身につけてください。学部生の皆さんは、専門科目の基礎となる数学・理科等の学力や語学力、国際社会を理解する力を徹底して高め、体育の授業では果敢にして実行力のある意志を培ってください。また、課外活動を通じて純粹かつ崇高な情操を養い、豊かなそして堅実な人格を陶冶してください。それぞれの学科の専門科目では、講義・演習・実験等を通して、先人が残してくれた多くの優れた知見・設計法の技術等を徹底的に修めてください。そして大学生活の集大成として、卒業論文、修士論文・博士論文を完成させ、その成果を学会で発表してください。

ここで、私からは、千葉工業大学で新たな生活を始めた皆さんに、学びのためのヒントを贈りたいと思います。少しでも参考になれば幸いです。

皆さんは、物心がついた頃からいろいろなことを考え、思い、意識して、今日を迎えています。皆さんが良いと考えること、悪いと考えること、美しいと感じること、素晴らしいと思うこと、人のためになると思うこと、感じ方は人それぞれであると思いますが、我々人間は五感でものを感じ取り、頭で物事を考えて生きています。しかし、皆さんが頭の中で考えていること、思っていることは、残念ながら形のあるものにしない限り、他人に理解してもらうことができません。

人は、自分の頭の中にあるものを他人に伝えるために様々な技術を持っています。科学者は、頭で考えた自然界の真理を、数式や文章を使って表現し他人に伝えます。芸術家は、頭に浮かんだ美を、絵画や音楽あるいは舞踊等にして他人に伝えます。そして技術者は、頭で考えた人のためになる価値を、製品にして他人に伝えます。いくら頭に浮かんだものが素晴らしいものであっても、それを形にすることができなければ他人には分かってもらえません。だからこそ、頭で考える力・発想する力と同じくらい、他人に伝える技術力・表現力が大切です。

一方、人は頭の中にイメージできるものしか形にすることができません。どんなに高い技術力や表現力を持っていたとしても、頭の中に思い浮かばないものをつくることはできません。

イメージは、その人が持っている知識を結びつけることによって構築されます。知識がたくさんあれば、結びつきの数が増えます。したがって、より多くのイメージをつくり出すためには、何よりも多くの知識を得ることが不可欠です。多くの知識を得るためには、読み、聞き、体験することを積み重ねなければなりません。理解力、判断力を養い、見聞き、体験したことを整理し、苦しくても努力を惜しまずそれらを記憶して、いつでも取り出せるようにしておかなければなりません。こうして、多くの知識が得られれば、知識から思考してたくさんのイメージを頭の中で形づくといい、人間ならではの醍醐味を味わうことができるようになります。イメージの構築に必要な思考力を養うためには、仮説・検証、帰納・推論のトレーニングを行えばいいでしょう。

実は皆さんは、小学校から学習してきた語学や算数・数学、理科や社会や芸術等の科目を通じて、多くの知識を得ると共に、理解力、判断力、表現力を身に付けて来たのです。最近皆さんが経験した入学試験も、それらの力を人に分かるような形にする舞台のひとつです。入学試験に合格するために、皆さんは、必要なことをたくさん憶える努力、憶えたことを頭の中で組み合わせて答えを構築する訓練、それを採点者にわかるように書いたり話したりして表現する練習を、時間をかけて行い力を付けて来ました。もし入学試験の本番で、これら3つのうちのひとつでも不十分であったら、皆さんは満足したと感ぜないでしょう。入学試験に合格した皆さんには、大学で学ぶために必要なレベルでは、これらの力が身についていると思います。これからは、卒業・修了までの間に、それらを実社会で活かせるレベルに高めてください。

皆さんも感じていると思いますが、今まさに、世界は大きなターニングポイントに差しかかっています。新型コロナウイルスによってもたらされた課題はますます深刻になっています。もはや特定の国だけで解決することが不可能なレベルに達しています。今こそ、国や人種や民族を問わず、地球上の全人類が一致団結してこの課題に立ち向かわなければなりません。

世界が、この人類史上稀にみる困難を乗り越えた後には、大きな変革の時代が待っていると思います。ただ、それがどういう時代になるのかは、今は、誰にもわかりません。新型コロナウイルスの感染が終息するのはいつか、普通の生活に戻るのはいつか、経済はどうなるか、何が残って何が消えるのか。行動は、ひとりひとりが考えて決めなければなりません。人類が新たな時代を切り拓いていけるかどうかは、皆さんのような若い世代の双肩にかかっています。今は、本当に必要なものに集中することが大事です。限られた時間を無駄にせず、充実した大学生活を送ってください。千葉工業大学において、皆さんが、これからの変わりゆく時代に、全人類に幸福をもたらす形あるものを生み出すための力の礎を築かれることを心から願っています。

令和2年4月1日

千葉工業大学 学長 小宮 一仁